

|   |          |     |
|---|----------|-----|
| 科目名称：   | 保育者・教職入門 |     |
| 担当者名：   | 改田 陽子    |     |
| 区分  | 授業形態     | 単位数 |
| 専門教育科目  | 講義       | 2   |
| 授業の目的・テーマ   |          |     |
| 今日、子どもを取り巻く環境や家庭のあり方の変化により、保育者（幼稚園教諭や保育士、保育教諭）に求められる役割や責務は多様化、高度化している。この授業では、保育者の制度的位置付けや倫理、子どもが健全に育つ環境や地域社会全体を視座に入れた、保育者の役割・資質・専門性等について学ぶ。また、その学びを通して、これから保育者になるにあたっての自らの課題を認識し、保育者としての意欲や自覚を養う。 |          |     |
| 授業の達成目標・到達目標  |          |     |
| ①保育者の役割や倫理、制度的な位置付けを理解する。<br>②保育者の専門性や専門職的成長について考察し、理解する。<br>③保育者の協働について理解する。   |          |     |

| 幼児教育学科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）   | 重点項目 |
|--------|---|------|
| DP(1)  | 建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。                          |      |
| DP(2)  | 優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。               | ○    |
| DP(3)  | 幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。 |      |
| DP(4)  | 学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。                           |      |

| 評価方法/ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ<br>小テスト | 提出課題<br>(レポート含む) | その他 | 合計  |
|----------------|------|-------------|------------------|-----|-----|
| 幼児教育DP(1)      |      |             |                  |     | 0   |
| 幼児教育DP(2)      |      |             | 70               | 30  | 100 |
| 幼児教育DP(3)      |      |             |                  |     | 0   |
| 幼児教育DP(4)      |      |             |                  |     | 0   |
|                |      |             |                  |     | 100 |

| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載） |            |
|--------------|--------------------------|------------|
| あり           | 《内容1》幼稚園教諭               | 《経験年数1》34年 |
|              | 《内容2》保育士                 | 《経験年数2》1年  |
|              | 《内容3》                    | 《経験年数3》    |
|              | 《内容4》                    | 《経験年数4》    |

|    |
|----|
| 備考 |
|    |

| 到達目標ルーブリック | すばらしい                                  | とてもよい                             | よい                       | 要努力                              |
|------------|--|-----------------------------------|--------------------------|----------------------------------|
| 人間性        | 自分について理解し、課題によく向き合い、最後まで成し遂げることができる。   | 自分について理解し、課題に向き合い、最後まで成し遂げる努力をする。 | 自分について理解し、課題に向き合うことができる。 | 自分について理解しようとせず、課題にも向き合わない。       |
| 社会性        | 他者と協力して活動を行い、社会状況・自然環境に積極的に興味関心を持っている。 | 他者と協力し、社会状況・自然環境に興味関心を持つようとしている。  | 他者と協力して活動を行っている。         | 他者と協力して活動を行わず、社会状況・自然環境に興味関心がない。 |
| 専門性        | 保育者になる為に必要な専門性を自覚し、身に付けている。            | 保育者になる為に必要な専門性を自覚し、身に付ける努力が見られる。  | 保育者になる為に必要な専門性を自覚している。   | 保育者になる為に必要な専門性を自覚していない。          |
|            |  |                                   |                          |                                  |

|  | 事前事後学修の内容                               | 事前事後学修時間(分) |
|--|---|-------------|
| 第1回 保育者とは—保育者の仕事の本質・特質—                            | シラバスを精読し、教科書1～19p「保育者とは」を読んでおく。         | 30分         |
| 第2回 保育者になるために—保育者の免許・資格—(クイズ形式)                    | 教科書22～34pを読んでおく。                        | 30分         |
| 第3回 幼稚園教諭・保育士の仕事と一日(グループワーク)                       | 教科書35～74pを読んでおく。                        | 30分         |
| 第4回 子どもの内面や発達を理解する保育者                              | 教科書75～92pを読んでおく。                        | 30分         |
| 第5回 遊びを援助する保育者(動画視聴)                               | 教科書93～110pを読んでおく。                       | 30分         |
| 第6回 教材などを通して遊びを深める保育者～絵本を通して学ぶ保育者～(動画視聴・絵本実技・絵本作成) | 教科書167～181pを読んでおく。絵本を1冊持参する。            | 30分         |
| 第7回 教材を通して学びを深める保育者～環境を構成する保育者の役割～                 | 教科書183～189pを読んでおく。                      | 30分         |
| 第8回 個と集団を生かす保育者(グループワーク)                           | 教科書111～130pを読んでおく。                      | 30分         |
| 第9回 保育を展開し評価する保育者(保育の計画・実践・査察)                     | 教育要領・保育指針の指定ページを読み、指導計画及び評価について把握しておく。  | 30分         |
| 第10回 家庭や地域と連携・支援する保育者(保護者や家庭との連携)                  | 教科書131～148pを読んでおく。                      | 30分         |
| 第11回 家庭や地域と連携・支援する保育者(地域社会や小学校との連携)                | 教科書教育要領・保育指針の指定ページを読み、小学校との連携・接続を調べておく。 | 30分         |
| 第12回 多様な子どもの理解と支援する保育者                             | 教科書149～165pを読み、多様な子どもについて調べておく。         | 30分         |
| 第13回 成長する保育者と同僚性(グループワーク)                          | 教科書192～206pを読んでおく。                      | 30分         |
| 第14回 保育者の専門性・パーソナルポートフォリオ作成(実技)                    | 教科書207～225pを読み、なりたい保育者像を考えてくる。          | 40分         |
| 第15回 授業のふりかえりとまとめ                                  | これまでの復習をしておく。                           | 60分         |

全ての授業にITCを使用する。事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め、学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
授業内の課題レポート(70%)、授業への積極的関与(30%)

#### 課題に対するフィードバック

授業内の課題レポートは評価し返却する。

#### 教科書・参考書

教科書 「保育者論」(汐見稔幸・大豆生田啓友[監修]ミネルヴァ書房)(毎回授業で使用する)  
参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」